

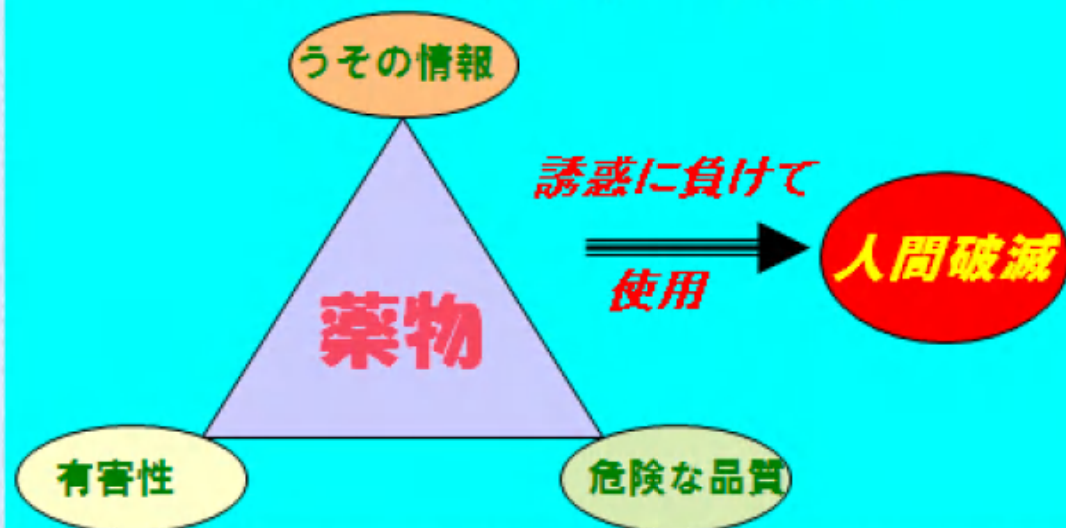
# 薬物乱用防止



# 医薬品と薬物

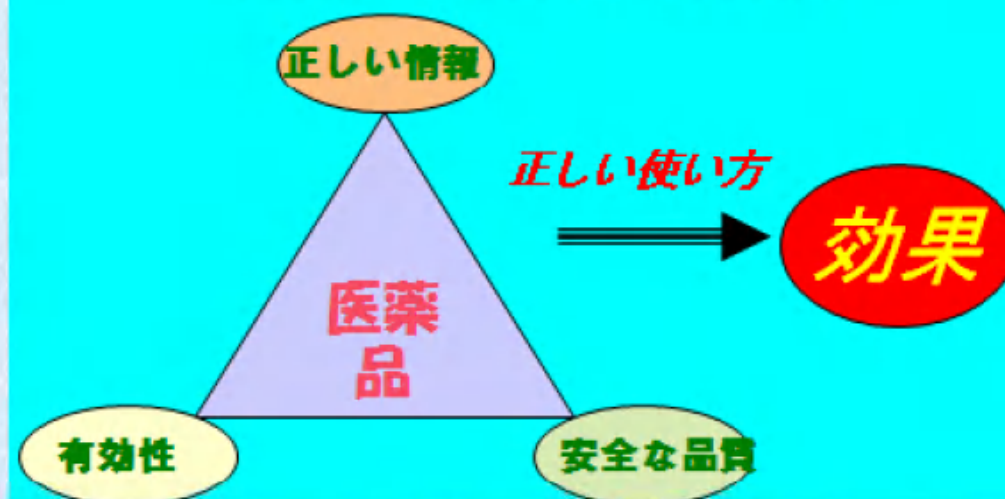
## 薬物乱用

化学物質(薬物)を、遊びや快楽を求める  
ために使うようにしたもの



## 医薬品の正しい使用

化学物質を、病気やケガを治す  
ために使うようにしたもの



**薬物乱用：**  
医薬品を含む化学物質の  
最悪の使用法



うその情報

薬物

有害性

危険な品質

# こんな風に誘われる！

いやなこと忘れて楽しくなる薬なんだからぜ！



- やせられるよ。
- 自信がつくよ。

すごく効く  
ダイエットの薬  
なんだけど少し  
試してみない？

- スカツとするよ。
- 元気がでるよ。

- 仲間はずれになるよ。
- 1回くらい平気だよ。

みんなやっ  
てるぜ、  
おまえたちも  
やれよ！  
やらないと仲  
間はずれにす  
るぞ！



うその  
情報

**薬物**

有害性

危険な品質

**薬物密売組織**

**暴力団**

**外国人薬物密売組織**

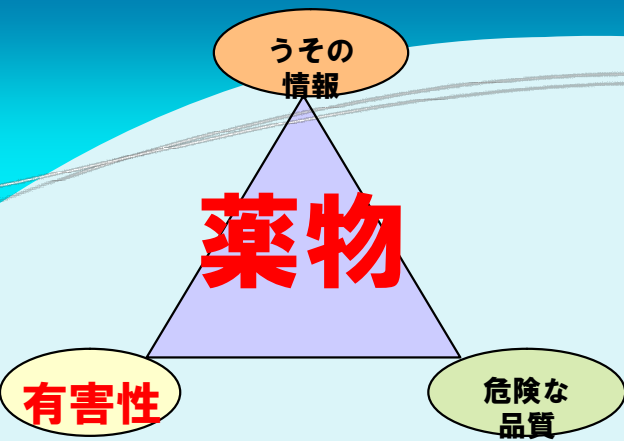
**やみ取り引き**

**大麻の自家栽培**

**毒キ / コの乾燥**

**悪い保存状態**

**使用期限なし**



# 薬物の恐ろしさ： 脳や神経に作用

## 抑制させる薬物 (ダウンナー)

- ・ 抗不安薬
- ・ 睡眠薬
- ・ あへん (麻薬)
- モルヒネ
- ・ ヘロイン (麻薬)
- ・ アルコール
- ・ シンナー

## 神経を興奮させる薬物 (アッパー)

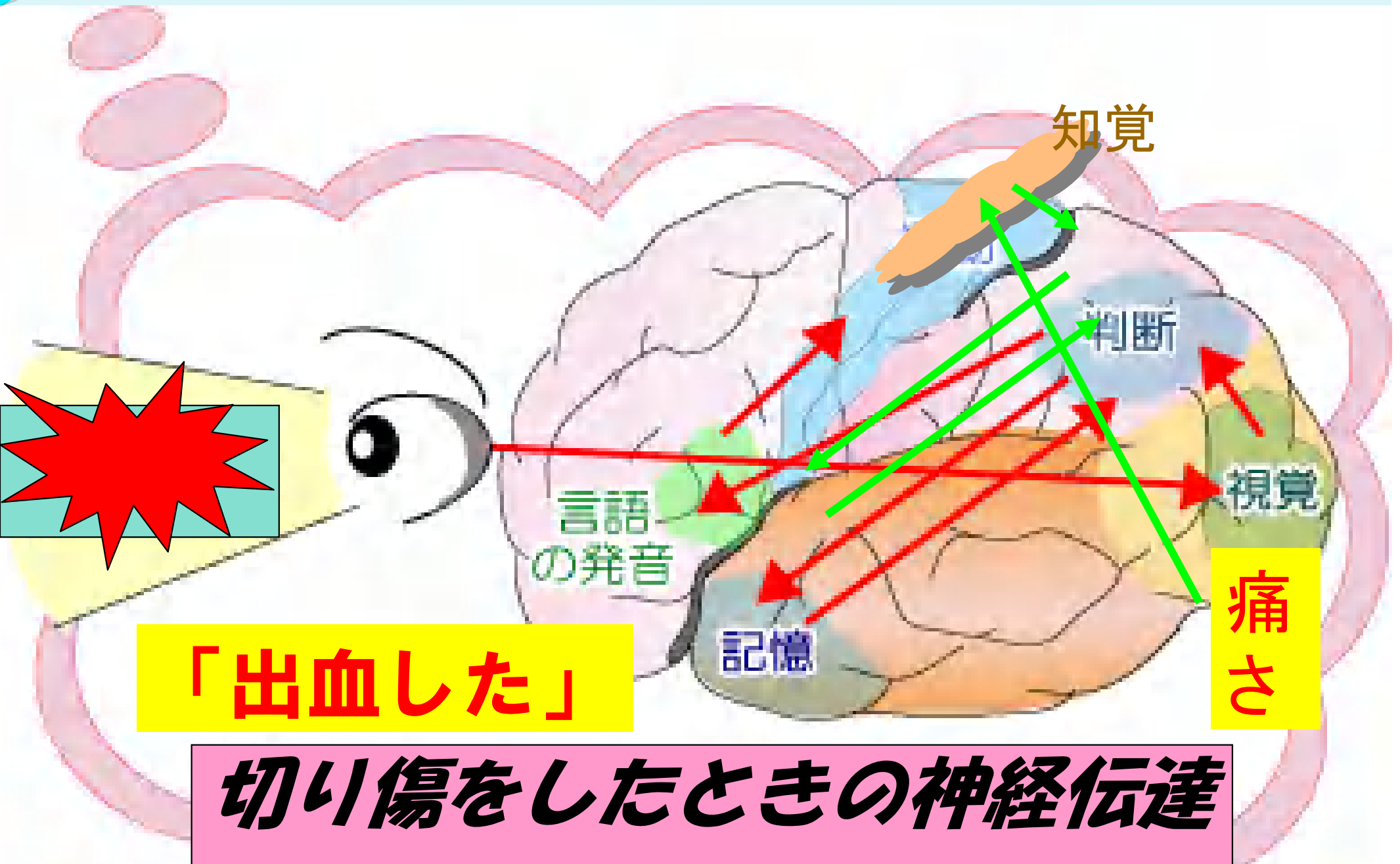
- ・ ニコチン (たばこ)
- ・ コカイン (麻薬)
- ・ 覚せい剤

- ・ MDMA
  - ・ MDA
- (合成麻薬)

- ・ 大麻
- ・ LSD (合成麻薬)

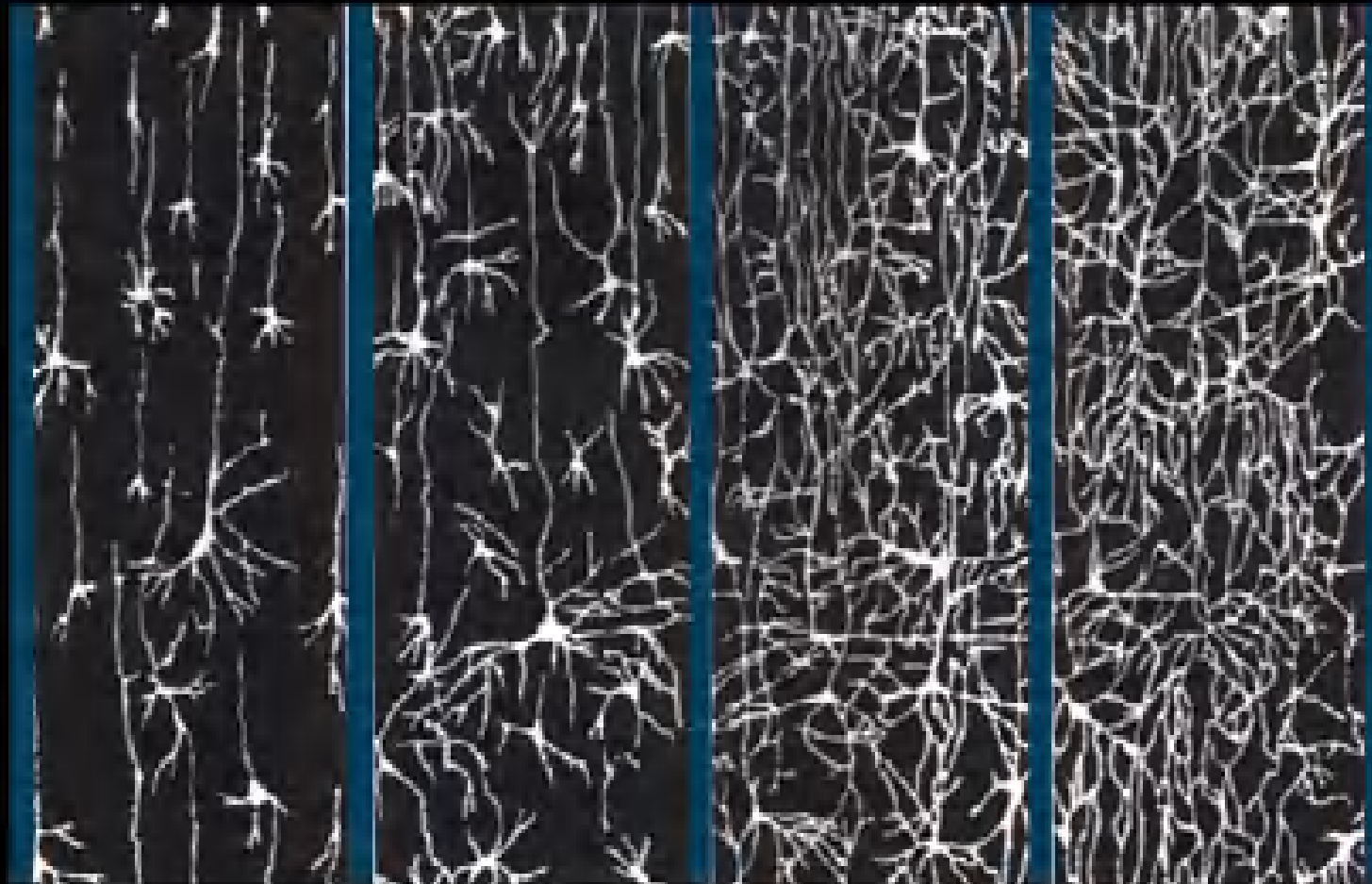
## 幻覚作用を持つ薬物

# 脳：情報の伝達、蓄積・記憶、感情、人間性



# ニューロンの成長 大脳皮質 神経細胞

ヒト大脳皮質の神経細胞同士の結合



誕生時

3カ月

15カ月

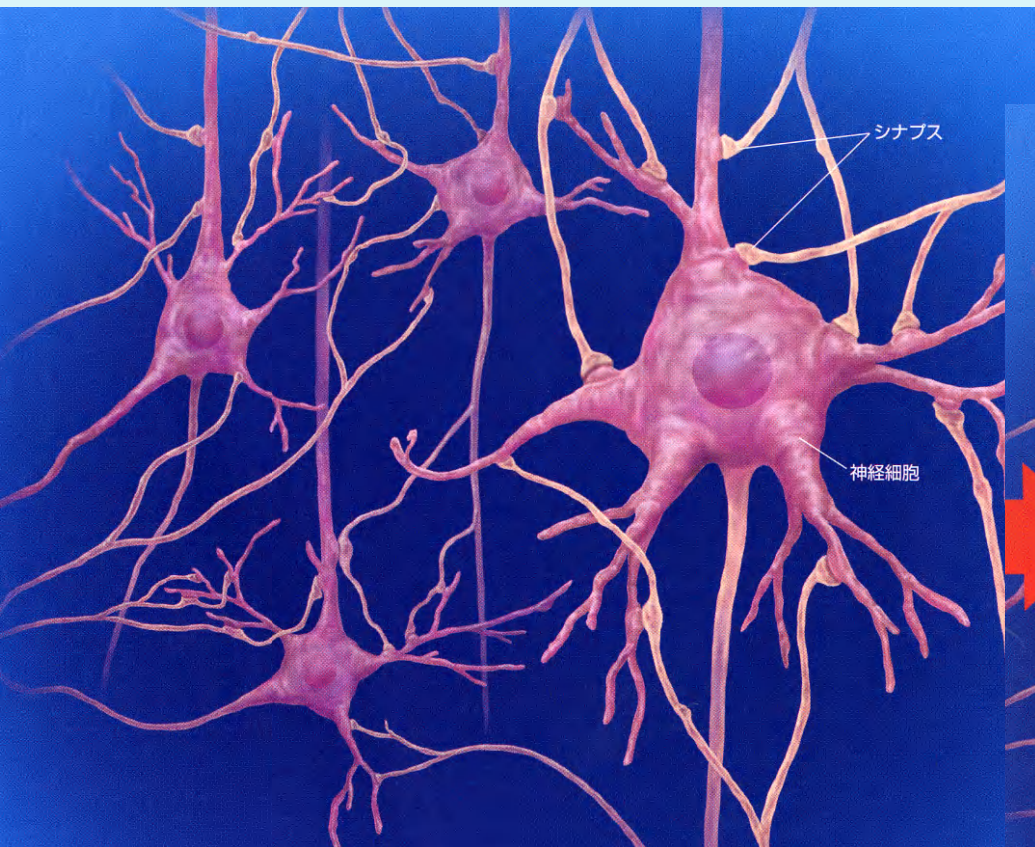
2年

1000億個ニューロン

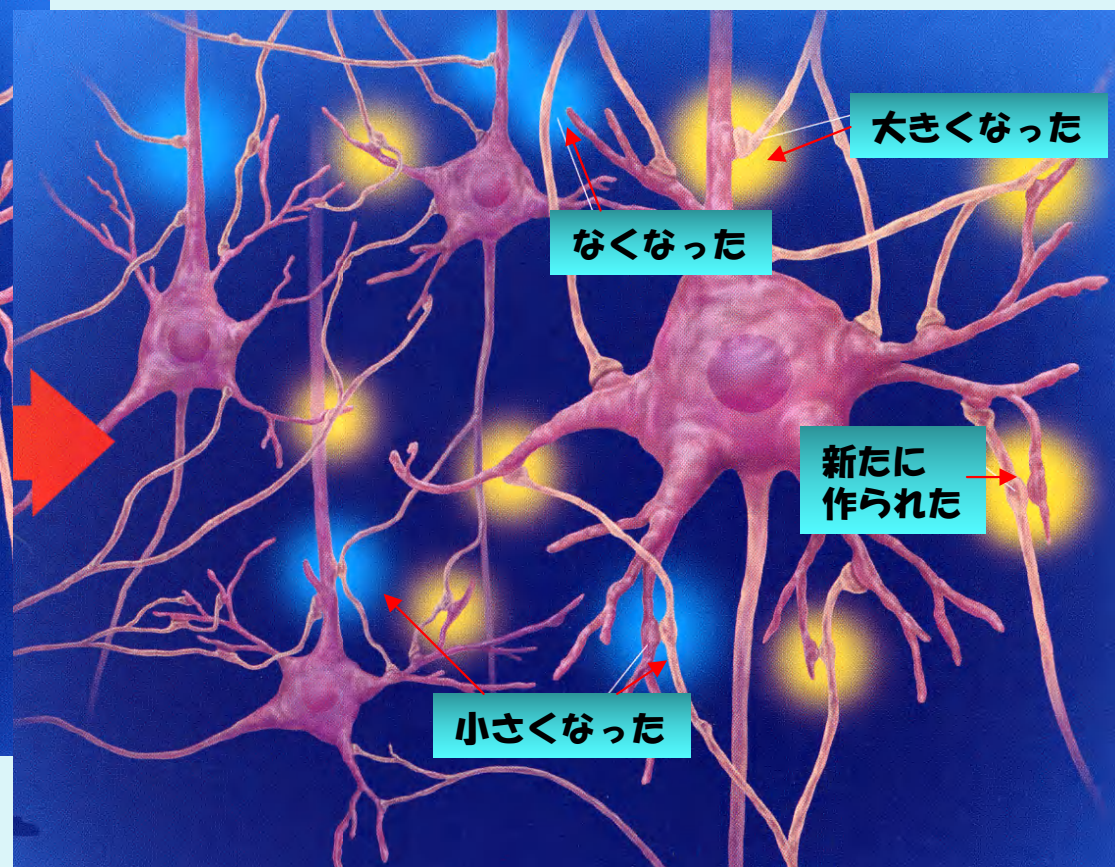
ニューロン成長のピークは 生後 8カ月、必要な回路を残して消失するが、  
1 個の神経細胞に約 2.5~4.5万 (5000~1万) のシナプス連結をしている。



# 記憶は脳にきざみつけられる

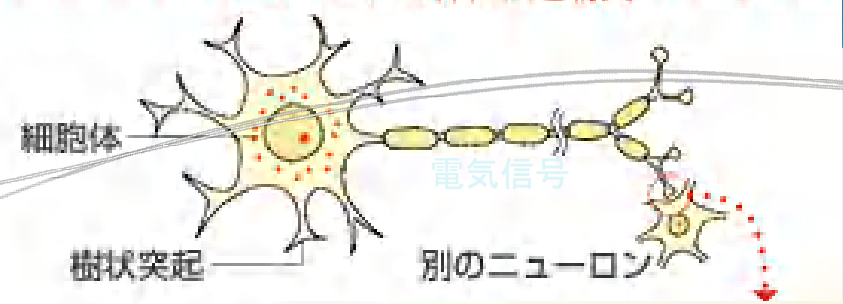


記憶前

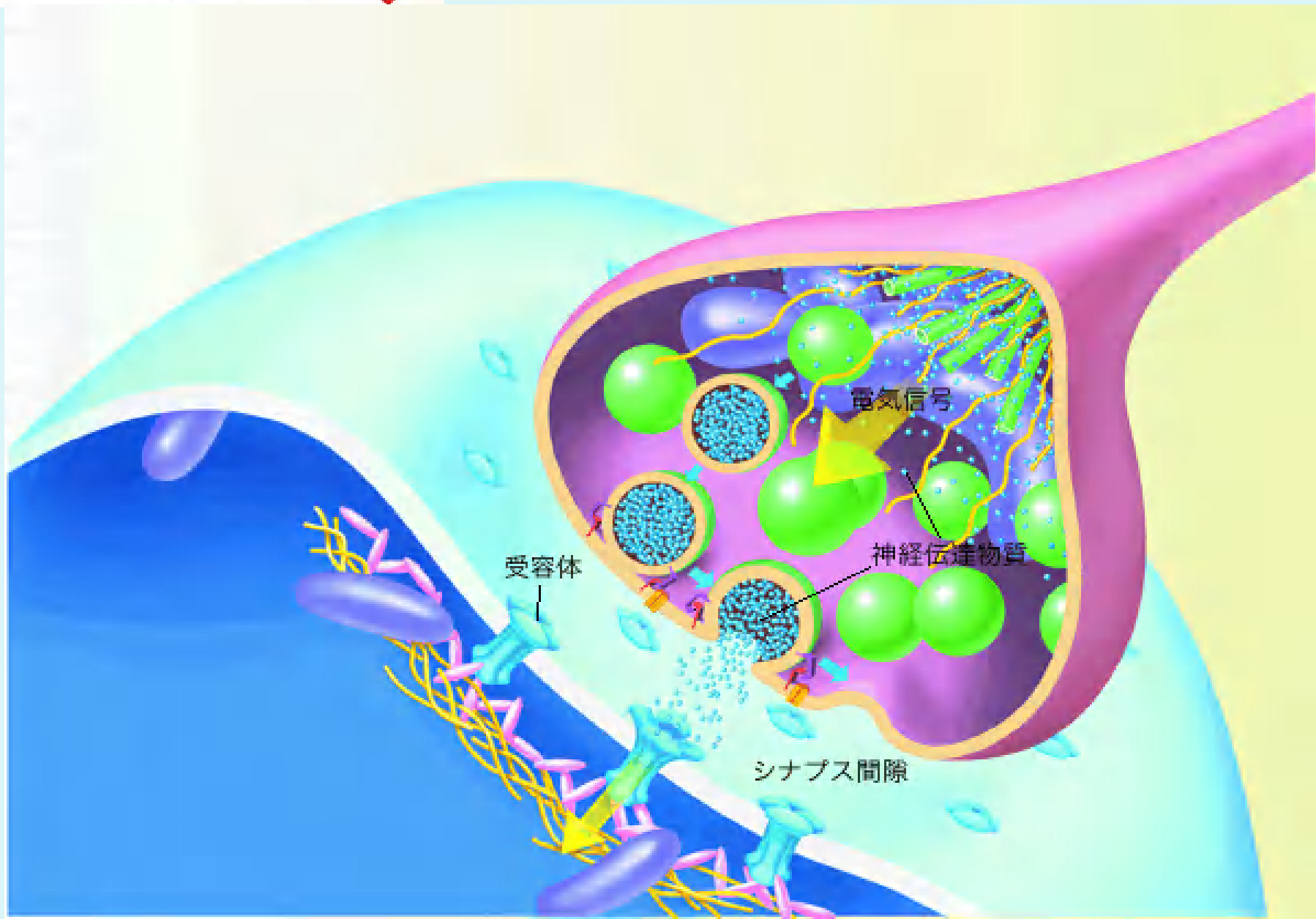


記憶後





# 情報の伝達：電気信号 + 神経伝達物



# 脳内の情報伝達

1000億個以上もの神経細胞（ニューロン）

網目構造で情報を伝達

神経細胞の内部：電気信号

神経細胞間のすき間：「**神経伝達物質**」

50種類以上、固有の働き

脳内では、神経伝達物質の量は常に厳密にコントロールされている。

バランスの崩れ⇒情報伝達に何らかの異常

⇒うつ病や不安障害など精神障害の原因の一部は

神経伝達物質の機能の異常

私たちの感情や気分は、どうやら神経伝達物質のバランスに左右されていることは確かなようです。

# 神経伝達物質

## ドーパミン

やる気，快感，陶酔感など本能の快感を刺激して，恋愛やひとつのことを成し遂げた充実感などはこの作用の一つです。

## アセチルコリン

頭が冴える，学習，目覚め，集中力，積極性などシナプス伝達物質に関与し，アルツハイマーでは減少しています。

## ノルアドレナリン

不安がよぎる，うつな気持ちなど交感神経から放出される怒りや驚きの伝達物質です。

## セロトニン， メラトニン

前向きな気分など情動系に刺激・覚醒，睡眠，意欲に関与し，不足すると鬱になったり，性欲，食欲亢進します。セロトニンが慢性的に減少すると自殺へとつながる危険性もあります。

## βエンドルフィン

痛みの緩和，幸福感などの感覚が麻痺，

## L-グルタミン酸

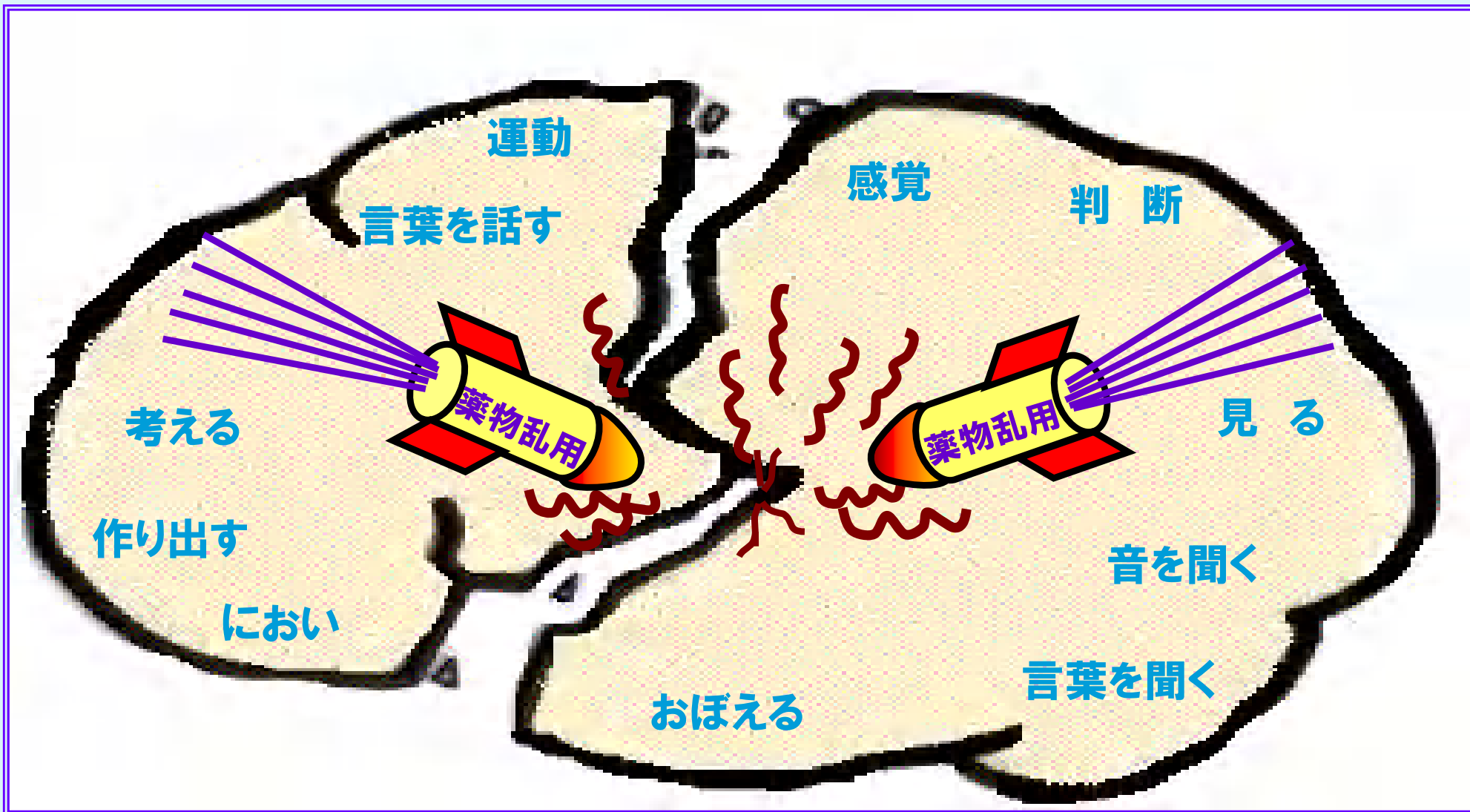
平常心，記憶の伝達作用に関係します。

## ギャバ， γアミノ酪酸

リラックスさせ脳の興奮を抑制するなどの働きがあると報告されています。



# 薬物による脳の攻撃



(財)麻薬・覚せい剤防止センター「薬物乱用マニュアルQ&A」より

# 薬物を乱用すると中枢神経がおかされ

## 心と体はメチャクチャ

シンナーの場合

脳 狂ってしまう



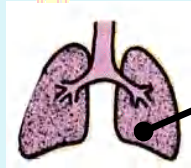
歯 ぼろぼろになる



眼 見えなくなる



せきが出る



覚せい剤の場合

精神障害



食欲抑制



血圧上昇



(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

「薬物乱用はダメ、ゼッタイ」より

# 薬物乱用の害(覚せい剤)

## 幻覚

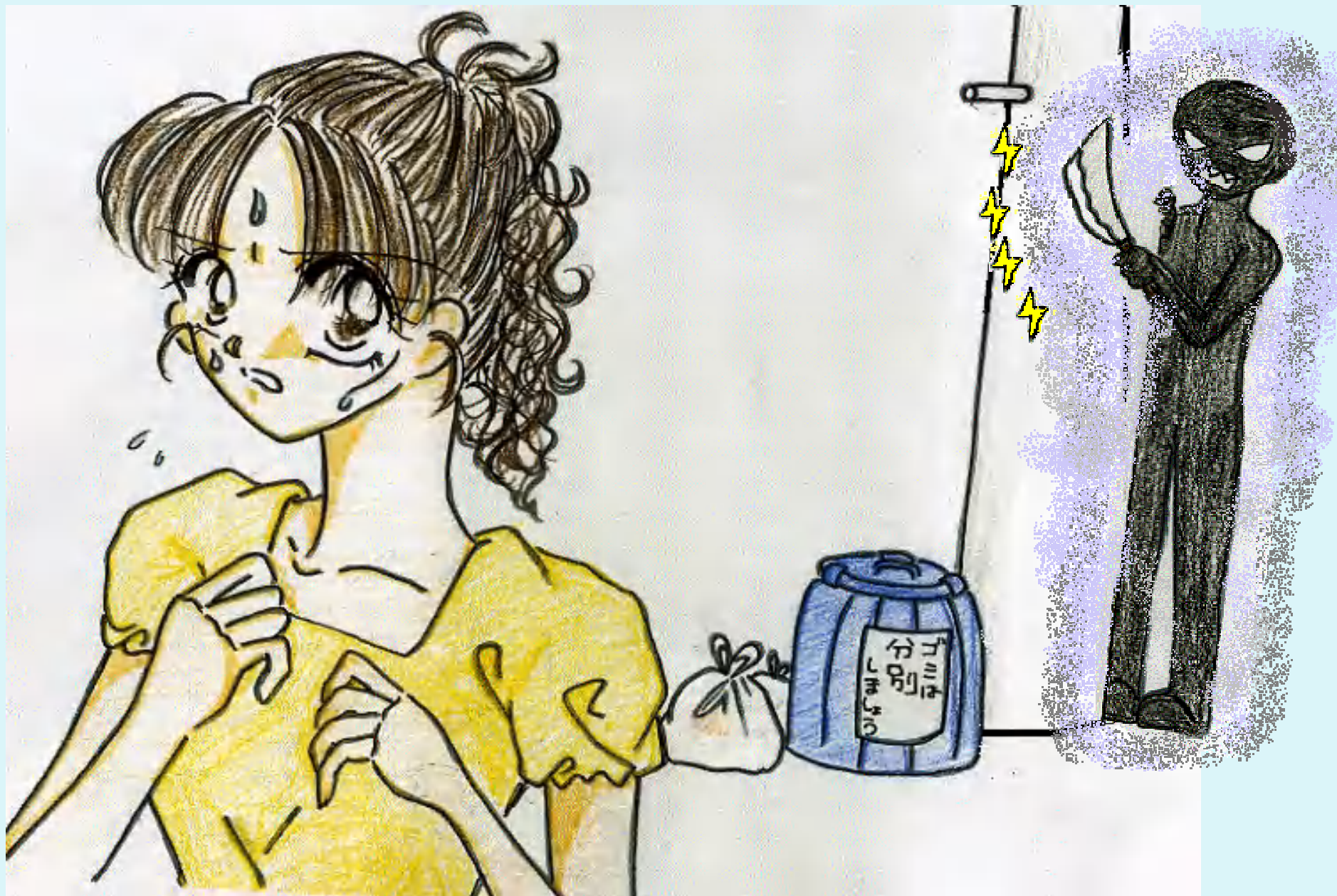


- 幻覚 幻聴 妄想
- 瞳孔散大
- 血圧上昇
- 食欲抑制
- 不眠





# 薬物乱用による妄想





“1回だけなら…”とんでも…

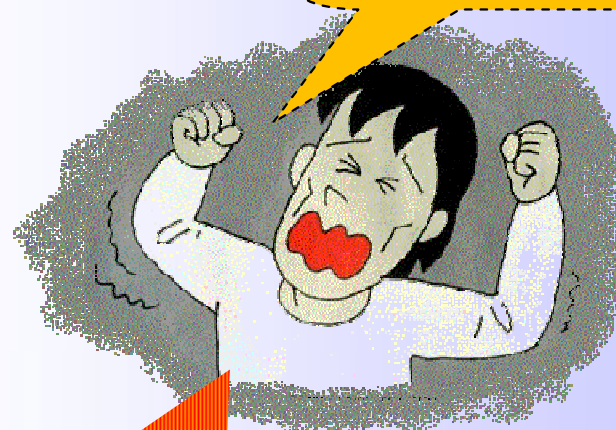
# 依存症：やめられなくなる



1回くらいなら



抑うつ地獄  
不安・イライラ  
疲労感・脱力感



ク・クスリを  
くれーっ!

依存性・耐性  
強迫的使用

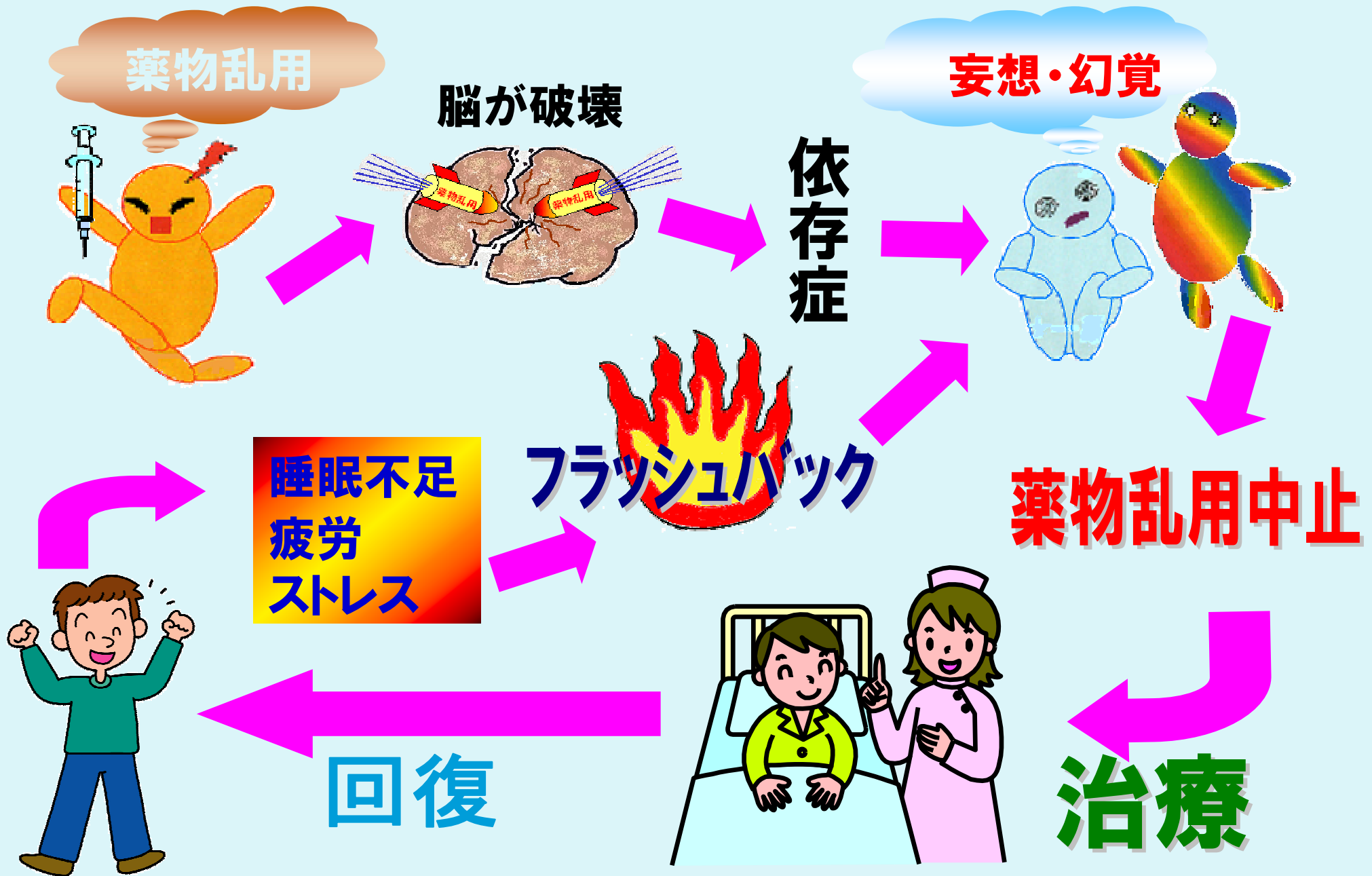
見せかけの元気

すごく幸せ



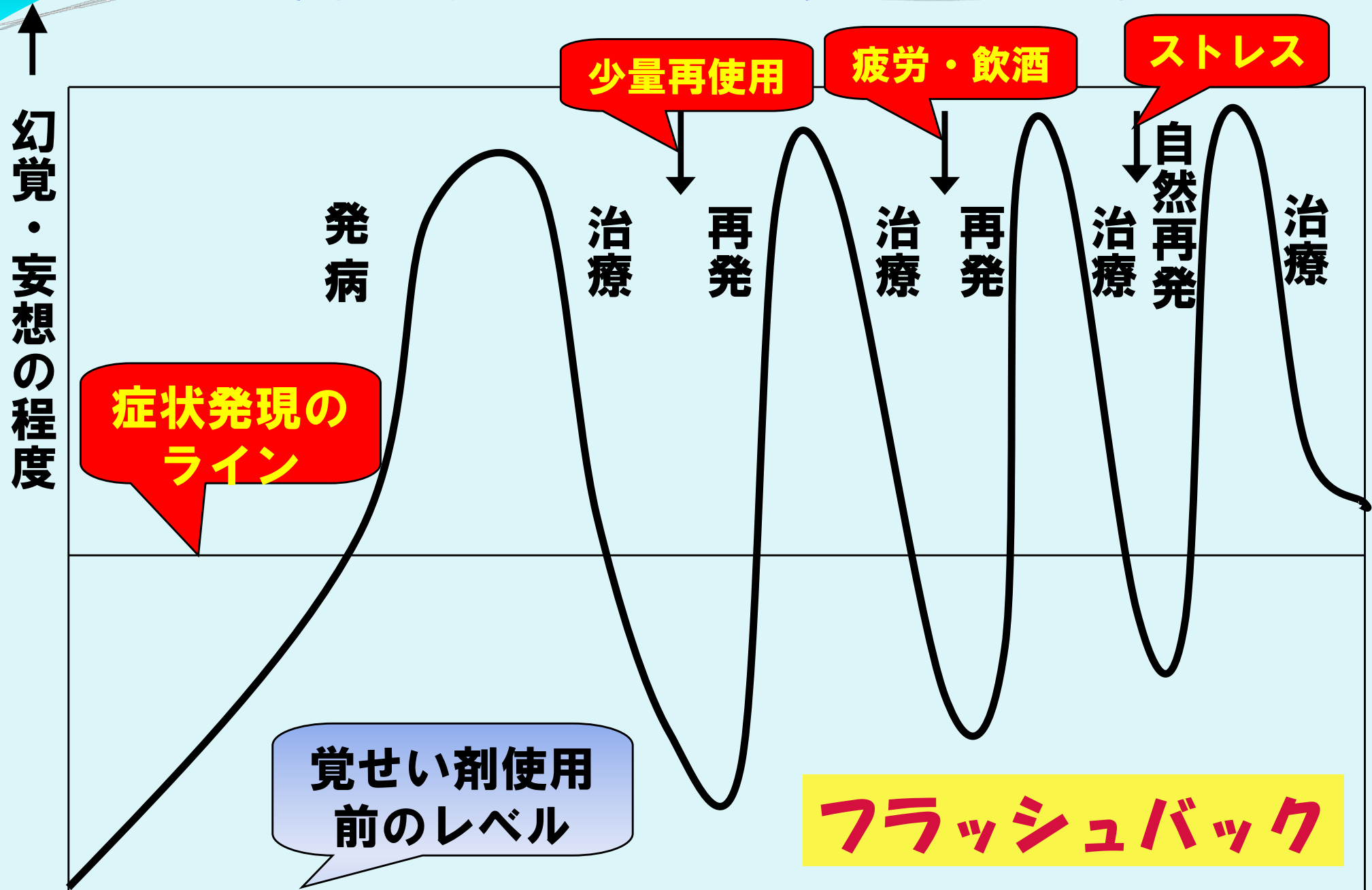
もう一本…  
もう一本…

# フラッシュバック（再び燃えること）





# 覚せい剤精神病の発病と再発の模式図



うその  
情報

誘惑に負けて

薬物

使用

じゃあなぜするの？

有害性

危険な  
品質

## ・興味半分

- ・ 友達、知り合いにさそわれ、断れなくて

- ・ 一度くらいないいいと思って

- ・ 広告を見て

- ・ ストレスから

- ・ 環境の影響から



友達の誘惑



ストレス (疲れ・緊張)

薬物専門病院に入院



# 薬物乱用者のたどる道

ほうりついはん  
法律違反で逮捕



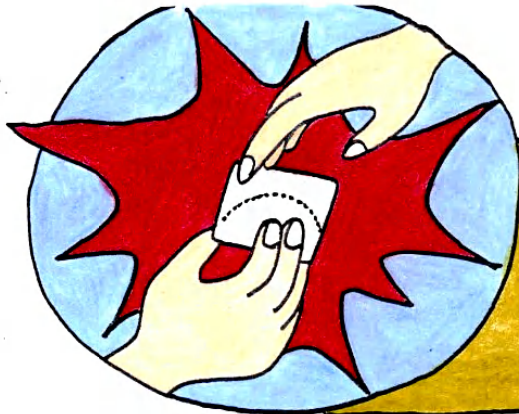
あの世行き



見せかけの元気



一度でも手を出すと...



..んかく  
もうそう

やくぶついぞん  
薬物依存

薬がないと不安  
イライラ



# 薬物乱用が**体**に与える影響

- ◆ 脳の働きがこわされる
- ◆ 内臓が悪くなる
- ◆ 体の成長が止まる
- ◆ 食欲がなくなる



# 薬物乱用が**心**に与える影響

- ◆ 見えないものが見えたり (幻覚)  
聞こえないものが聞こえる (幻聴)。
- ◆ 無気力となりやる気がおきない。
- ◆ イライラして落ちつかない。

# 薬物乱用が**社会**に与える影響

**薬物を手に入れるためには**

**『何でもする』ようになってしまい…**

- ◆ **攻撃的になる（暴力）。**
- ◆ **万引きをする。**
- ◆ **事故・事件を起こしやすくなる。**
- ◆ **家庭がメチャクチャになる。**

# 薬物乱用防止には？

# 健康な**心**を作るには？



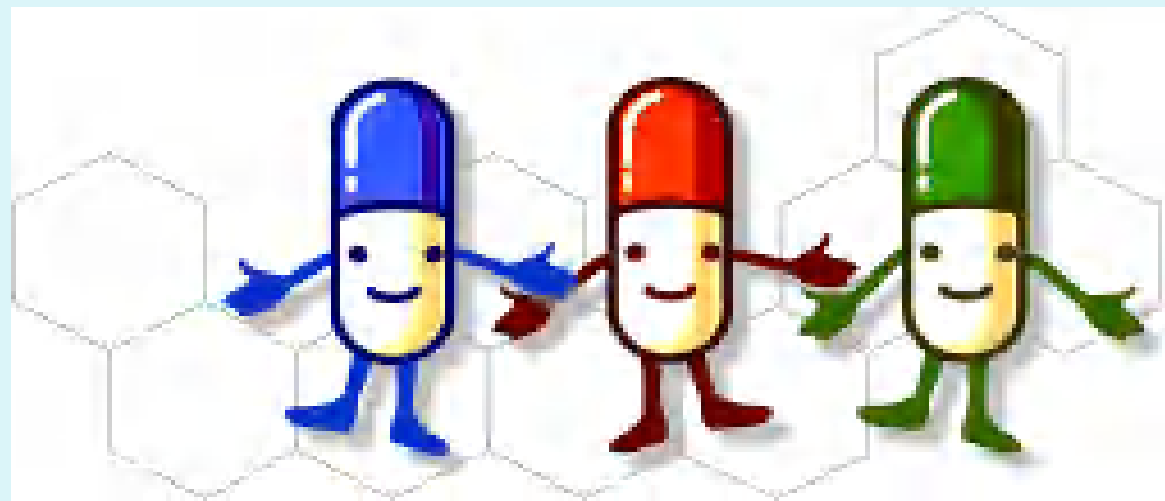
## 心の健康五か条

- 自分自身を大切に思うこと
- 物事を前向きに考えること
- 自分なりの目標に向かって努力すること
- 様々なトラブル・心配事にくよくよしないこと
- 家族・友人と何でも話し合える関係を築くこと



今日のお話、  
ずっと覚えていて  
ください。

おわり



# 青少年に教えなければならない 七つのポイント 予防教育

(アルコール問題全国市民協会の資料より改編)

薬物を、シンナーや覚せい剤などに特定せず、それらの薬物乱用へのゲートウェイ(入り口)となっているアルコールやタバコの乱用防止から入る。

## 薬物予防教育の7つのポイント

- 1 アルコール、タバコは、嗜癖性・依存性の強い薬物である。
- 2 アルコール、タバコは、他の薬物への「ゲートウェイドラッグ(入口の薬)」となる。
- 3 アルコールを飲めるか、飲めないかは体質である。
- 4 青少年期からの薬物乱用は、薬物依存症の危険を確実に増加させる。
- 5 ストレスやつらさ、悲しみ、寂しさなどはアルコールや薬物を乱用しなくても乗り切れる。
- 6 若者一人一人が、そのままではかけがえのない価値ある存在である。
- 7 薬物の乱用は、犯罪であると同時に病気である。

# ストレス

薬物乱用防止教育 中学校における展開例

## ストレス対処 「この気持ち、どうしたらいいの？」

人は、**ストレス**に対し様々な方法で対処している。しかし、対処法の中には、長期的に見れば好ましくない結果をもたらすような方法もある。そうした**対処法の一つが薬物の乱用**である。しかし、より**健康的な方法で、ストレスに対処するスキルを学んでいけば、薬物乱用の危険性を回避する能力が高まると考えられる**。ここでは、**ストレス対処スキルについて知り、より健康的にストレスに対処する能力を高めるために、この題材を設定した。**



# 親が家族でできるストレス対処方法

1. 十分な栄養と休息を与えること。
  - ・おいしい食事の準備
2. 有効なコミュニケーションスキルを考える。
  - ・怒りで子どもを動かそうとしない。
  - ・イライラと、どうしてもしかなければならぬことを区別する。
  - ・どうしてもしかなければならぬことがあれば、行動そのものを注意する。
    - ・子どもの自尊心を傷つけるような注意のしかたはしない。
    - ・子どもに任せるときは、子ども自身ができると感じさせるようにする。
    - ・子どもに何かものをたのむときには敬意を払う。
3. ものの見方を変える：否定的見方から肯定的見方へ
  - ・すべてが悪いのではなく、ある特定の部分が悪いのであって他は問題ない。
  - ・すべてできないのではなく、これだけの部分はできる。
4. 子どもとのレクリエーション的活動を行う。
  - ・かかわる大人自身も楽しむ。子どもは親と一緒にいて楽しそうにしているのを見て、愛されていると感じる。

# 薬物乱用防止教育に独り言

今は、小中学校の保健体育の授業とかで教えているのでしょうか。  
麻薬や覚せい剤、薬物の恐ろしさや危険について。

私が、子供の頃＝昭和50年代は薬物に対しての、教育、教えは皆無だったと思います。  
唯一、記憶にあるのは、刑事ドラマGメン75で女刑事がシャブ漬けにされたりするシーンが  
子供心に異様に怖かったのを憶えているくらいでしょうか。

ここ数日の報道がホントだとすると、薬物汚染は芸能界、そして市民社会に拡がりを見せているようです。  
だとすると、何でだろうと考えてみました。

このような事態は、薬に対する拒否感が弱く、つい気軽に頼ってしまう現代人の傾向が、招いているとは考えすぎでしょうか。  
ちょっと頭痛がすると、すぐノーシン。風邪気味だと、直ぐ病院に行って貰ってくる飲み切れないほどの処方箋。  
昼食代わりに、サプリメント。  
現代は、まさに薬漬け状態なのです。

全くもって現代人ではない、昭和系の私は、基本自然治癒です。  
栄養のあるものを食べて眠って休んで直すので、薬は基本飲みません。サプリなんてそれこそ。  
単純に薬嫌いなオヤジという事ですが、薬好きな現代人ならきっと

「痩せられる」

「目が覚める」

「元気になる」

と言われて薦められれば、意外にすんなりと・・・・・・・・、うーん怖いです。

普段の薬さえも怖いと思うくらいが、丁度良いと思うのですが  
皆さんは、どうお感じになりますか？